

令和2年度 保健福祉センター内障害者福祉センター指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】：令和元年度

1. 総則

| | |
|---------|---|
| 指定管理者 | 株式会社オールケアライフ |
| 事業期間 | 平成 31年 4 月 1 日 ~ 令和 6年 3月 31 日 |
| 管理体制 | <p>【生活介護】 管理者《常勤1名》サービス管理責任者《常勤1名》看護師《常勤2名 非常勤2名》生活支援員《常勤7名・非常勤9名》嘱託医《非常勤1名》理学療法士《非常勤2名》作業療法士《非常勤1名》言語聴覚士《非常勤1名》送迎ドライバー《放課後等デイサービス兼務 常勤1名 非常勤6名》事務員《放課後等デイサービス兼務 常勤2名》</p> <p>【放課後等デイサービス】 *すてっぷ1組(重症心身障がい児以外対象) 児童発達支援管理責任者《常勤1名》嘱託医《非常勤1名》児童指導員《常勤3名 非常勤1名》その他の従業者《非常勤1名》機能訓練担当職員《非常勤1名》 *すてっぷ2組(重症心身障がい児対象) 管理者兼児童発達支援管理責任者《常勤1名》保育士《常勤2名》嘱託医《非常勤1名》看護師《常勤1名 非常勤1名》機能訓練担当職員《非常勤3名》 <<令和2年3月31日現在>> ※法定雇用率達成している。</p> |
| 職員の勤務状況 | <p>【生活介護事業】常勤換算 1 : 1.7配置 (前年度実績比23.0人の為常勤換算13.6人配置) 【放課後等デイサービス】児童福祉法に則り、主に重症心身障がい児対象、主に重症心身障がい児以外対象としての配置</p> |

2. 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

| 項目 | 内容 | 協定事項等 | 実施状況(実績値等) | 達成度分析 |
|------|--------|---|--|--|
| 運営業務 | 開館日・時間 | 生活介護事業に関する部分 午前9時から午後5時30分まで開館 休館日は①土曜日及び日曜日 ②1月1日から1月3日 放課後等デイサービス事業に関する部分 午前9時から午後7時まで開館 休館日は①土曜日及び日曜日②1月1日から1月3日 ミーティングルーム等 午前9時から午後9時まで 休館日は③土曜日④休日⑤12月29日から1月3日(①②を除く) | 協定書通りに実施し、行政やボランティア団体、一般の方からの依頼にできるように対応した。 貸館については、障がい当事者の日曜日の利用申し込みはなかった。 | 土曜日、日曜日が開館なのかの質問等ある。開館時間を超過しての利用はなかった。 |
| | 受付・案内 | ミーティングルーム等 希望日時と部屋名を受付、当日開館 | ミーティングルーム等利用多数あり。 | 出来るだけ多くの利用につながるように、予約に対しては空いている時間帯や日にちを明確に伝えることをご理解を頂き、利用の幅を広げた。 |
| | 料金設定 | 障害者総合支援法第29条第1項に規定する特定費用として市長が別に定める額及び同法第29条第3項の厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額、児童福祉法第21条の5の3第1項に規定する通所特定費用として市長が別に定める額及び児童福祉法第21条の5の3第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した額。 | 生活介護事業では食事提供に係る食材料費「260円/1食」及び利用者負担上限額に則り徴収。 放課後等デイサービス事業も同様に、利用者負担上限額に則り徴収 | 規定通りの徴収を行った。 |
| | 広報・宣伝 | 特になし。 | 各支援学校や関係機関、自治体の見学及び専門学校・大学のボランティア・体験等を受け入れる。 | 例年通り、近隣の小学生の見学者や他市、大学等からの見学者を受け入れ障がい福祉を知って頂く機会を設ける事が出来た。支援学校進路指導の先生と連携し、見学会や1日体験の受け入れを実施したことで卒業後の進路先としても見て頂く事が出来た。 |

| 項目 | 内容 | 協定事項等 | 実施状況（実績値等） | 達成度分析 |
|----------|---------|---------------------------|---|---|
| 施設維持管理業務 | 清掃・保守点検 | 事務室、浴槽、及び食堂の清掃 浴室の水質管理 | 毎日朝及び利用者様が全員帰宅後16:00以降に清掃（モップ・掃除機）を行い、週末木曜日に関しては通常の清掃に加え、次亜塩素酸溶液にて床の清掃を実施。汚染時は随時実施する。 浴室に関しては利用者全員終了後浴室用洗剤で清掃。一般浴室の浴槽、排水溝、窓ガラスは週末金曜日のみ実施。機械浴室での医療的ケア利用者入浴時は毎回浴槽清掃を実施する。 食堂の清掃は委託業者が実施する。水質管理は設備会社が実施する。 | 浴室の管理上、毎朝床を次亜塩素酸溶液で拭き、職員については入口で外履きと内履きの区別を行うことで衛生管理を継続している。 一般浴室浴槽内の水質に関しては、浴槽湯の破棄を規定日以外にも実施する等し、設備会社の方の簡易水質検査時の数値によっては、その都度塩素濃度引き上げなどの措置を継続している。 |
| | 修繕 | 設備の状況により年次計画書のとおり実施 | 厨房に関しては、製氷機の老朽化に伴い新しい製氷機を購入する。老朽化による浴室床の剥がれについて床を修繕。浴室天井の修繕については実施予定。 | 入浴は安全となるが、特浴に関しては広い部屋の為、冬場は室内の暖房等で寒さ対策を工夫し対応する。 |

| 項目 | 内容 | 協定事項等 | 実施状況（実績値等） | 達成度分析 |
|-----------|-----------|--|---|--|
| 施設利用等許可業務 | 利用者数・利用料金 | 生活介護 利用定員20名 放課後等デイサービス (重症心身障がい児対象) 利用定員5名 放課後等デイサービス (重症心身障がい児以外対象) 利用定員10名 | 生活介護 利用のべ人数 5,956人 放課後等デイサービス (重症心身障がい児対象) 利用のべ人数 1,707人 放課後等デイサービス (重症心身障がい児以外対象) 利用のべ人数 2,192人 | 生活介護の利用者数は昨年度より日平均1.0名の増。 放課後等デイサービスの利用者数は、昨年度より、重症心身障がい児対象クラスで日平均0.5名の減。重症心身障がい児以外対象クラスは日平均1.7名の減。 |
| | 利用率 | 開所日数 生活介護 259日 (土日及び1/1～1/3を除く) 放課後等デイサービス 259日 (土日及び1/1～1/3を除く) | 生活介護 平均利用可能定員 25人/日 平均利用者数 23.0人/日 放課後等デイサービス 平均利用可能定員 *重症心身障がい児 7.5人/日 *重症心身障がい児以外 12.5人/日 平均利用児数 重症心身障がい児 6.6人/日 重症心身障がい児以外 8.5人/日 | 生活介護においては、新規の御利用者様微増だが、利用者ニーズや急な対応、利用日のご希望にお応えし一人あたりの利用日数が増えた。 放課後等デイサービスにおいて、定期利用日以外でのデイの利用をしたいというニーズに対してお応えし、長時間の対応等で、満足をいただけている。 |

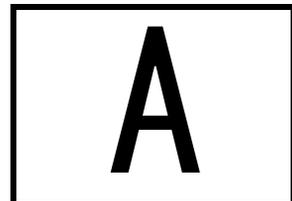
| 項目 | 内容 | 協定事項等 | 実施状況（実績値等） | 達成度分析 |
|------|---|----------------------------|--|--|
| 自主事業 | 夏祭り 『第11回オールケアふれあい祭りin門真』 | 地域との交流と開かれた施設運営を目的とした祭りの開催 | 「笑顔が飛び交う門真から元気とハッピー届けます！」をテーマに、ボランティアの演奏・演出に利用児者様も参加、地域の方と触れ合う。近隣地域住民、門真市内学校及び周辺施チラシを配布、1067名超の地域の方が来場された。1階2階のスペースを活用し、地域の方々とも交流を図る場となった。 | ポスター掲示からチラシ配布に今年度変更し、集客は前年より大幅に増員した。各ボランティアグループも地域で活躍されている方々が毎年参加して下さる。催し物等を増やし大盛況となる。複数の来場者により安全を配慮した対応を実施した。模擬店はすぐ完売となる状況であった。 |
| | 第5回外泊企画 『生駒野外活動センター』『施設周辺散策』 | 社会資源の活用目的 | 1泊2日の外泊企画では他県の宿泊施設へ初の試みとなる。全過程2日間天候にも恵まれ、施設周辺散策や花火大会・バーベキューを実施した。 | 体験場所を他県へ提案する事により、利用者様の満足に繋げることが出来た。医療的ケアの必要な利用者も毎回参加され、ご家族様からは「安心して預けることができる」との声も毎回頂く事が出来た。利用者様の社会資源を認知し主体的、選択的に活用する事で自立支援を目指した。 |
| | 体育祭 『第11回門真体育祭』 クリスマス会 『第11回オールケアクリスマス会in門真』 | 利用者交流目的 | 平日にイベントを開催する。利用児（者）様一人ひとりの個性を活かした競技・演目を考案し演目に参加する。家族様との交流を深める為、合同演目を取り入れ一体感を作り上げる事が出来た。 | 平日の開催にも慣れ、利用者様や家族様の参加も定着する。日中活動で練習をしたことを発表する事で、利用者様、家族様、職員が一緒に楽しむイベントを開催する事が出来た。 |
| | 『ぼど』『花見』『買い物』『レクリエーション』『施設見学』等 | 自主的な事業の開催 | 季節を感じる事ができる活動や調理実習を実施する。2週間に1度ぼどのチラシ折り、配達作業の実施。近隣の施設見学、コンビニエンスストアにて買い物を体験する。 | 日中のイベントには「全員参加」を目標に取り組み。買い物企画等、施設外での新しい活動の場設ける事も出来、ぼど・調理実習等も、医療的ケアの利用者様も含め参加することが出来た。 |

| 項目 | 内容 | 協定事項等 | 実施状況（実績値等） | 達成度分析 |
|-----|--------|------------------|---|---|
| その他 | 職員研修 | 資質向上研修を実施 | 外部研修に参加。 職員研修ではケース検討及び、介護技術研修を取り入れ、利用者理解・障がいの理解の資質向上を行った。 | 外部研修に参加した職員から、会議の場での全体周知を実施。ケース発表では、利用者理解・障がい理解を深めるとともに、スタッフ全員の情報共有の場となった。また、介護技術研修を実施し、基本の技術、知識の理解を深めた。 |
| | 個人情報保護 | 個人情報保護研修を実施 | 1回/月 全体ミーティング内で実施 | 個人情報として捉えるべき内容の認識が職員で共有していけるよう、会議で検討と情報共有を行うことができた。 |
| | 情報公開 | 市条例等に従い情報の公開にあたる | 1回/月 受領証の発行 創作活動費会計報告 | 創作活動費の使用方法等も利用者へのニーズに合うように行い、会計報告を行う事で集金拒否はない。 |
| | 緊急対応 | 防犯・防災・安全・感染対策 | 『救急救命研修・AED講習』を実施 門真市健康増進課主催の建物内消防訓練に参加 安全対策として、ヒヤリ、事故を毎月集計・傾向を把握し会議で報告し、共有するとともに事故の減少に努めた。研修により感染症対策の実施に努めた。 | 救急救命研修を実施することによりいざという時の対応等を身につけることができた。 建物内消防訓練に、利用者、利用児も一緒に参加し、健康増進課の職員の方に協力をいただき、実際に建物外へ避難を実施した。避難時に必要な対応や介助を行い、さらに改善していく。 |

事業達成度評価 コメント

年間通して離職率が低く、職員の増員と定着により法定雇用率が達成できた。自主事業では例年と同様の行事を行ったが、「交流」に主体をおき、地域・利用者、家族同士の交流を深め、多くの方々にとって頂く事ができた。利用児（者）からの急な依頼や利用日数を増やしたい要望等に対応し、満足して頂けることができた。新型コロナウイルス感染症対策として職員には、施設内のアルコール消毒、手洗い、うがい、検温、マスク着用、換気常時での対応をする事により、通常通りの運営が出来た。

事業達成度評価



凡例：事業達成度評価の区分

- A：協定事項等に定める水準を上回っている
- B：協定事項等に定める水準と同程度である
- C：協定事項等に定める水準を満たすことができなかった

(2) 利用者満足度の分析・評価

| 項目 | 回答結果・対応状況 | 分析 |
|--------------|---|---|
| 実施方法 回答者数 | ・貸館利用者ー常時カウンターに設置 【回答数0人】 ・生介、放デイー配付 【回答数 40人】 | |
| 施設・設備の充実度 | 大変満足ー平均22名 【55.0%】 やや満足ー平均8名 【20.0%】 普通ー平均 8名 【20.0%】 やや不満ー平均1名 【2.5%】 大変不満ー平均 0名 【0%】 記載なしー1名 【2.5%】 | アンケート項目「食事内容」「入浴施設の清潔さ」「施設全体の満足度」 老朽化による浴室天井の黒かびによる汚れや、廊下の床の剥がれ、汚れ等の意見も上がる。 |
| 施設の利用のしやすさ | 大変満足ー27名 【67.5%】 やや満足ー7名 【17.5%】 普通ー5名 【12.5%】 やや不満ー0名 【0%】 大変不満ー0名 【0%】 記載なしー1名 【2.5%】 | アンケート項目 「施設利用の予約」 利用回数の希望に添えるよう努力を行っている。具体的な空いている時間をお伝えし、少しでも多くの方のご利用に対応している。 |
| 職員の対応・態度 | 大変満足ー 32名 【80.0%】 やや満足ー6名 【15.0%】 普通ー 2名 【5.0%】 やや不満ー 0名 【0%】 大変不満ー 0名 【0%】 記載なしー0名 【0%】 | アンケート項目 「職員・スタッフの対応」 親切・丁寧な対応を心がけている。貸館の予約についても当日予約や当日キャンセルにも柔軟に対応していることが良い評価につながっていると考えられる。 |
| 利用料金 | アンケートに項目なし | |
| 利用時間 | 大変満足ー29名 【72.5%】 やや満足ー7名 【17.5%】 普通ー 4名 【10.0%】 やや不満ー 0名 【0%】 大変不満ー 0名 【0%】 記載なしー 0名 【0%】 | アンケート項目 「開館日・開館時間」 土曜日の開館要望がある。保健福祉センター内であることを都度説明し了承を得ている。 |
| 実施事業の充実度 | 大変満足ー26名 【65.0%】 やや満足ー6名 【15.0%】 普通ー 8名 【20.0%】 やや不満ー 0名 【0%】 大変不満ー 0名 【0%】 記載なしー 0名 【0%】 | アンケート項目 「事業内容の充実」 職員がご利用者とそのご家族との対話等により信頼関係を深め、個別支援計画を会議等で全体に周知し、支援の統一に努めた。時間変更等の急な対応にも、柔軟に対応できた。 |

| 2. 市民等からの意見・要望等 | 主な意見・要望等の内容 | 対応状況等 |
|-----------------------|--|--|
| | 録音室の機材の老朽化 | 部屋の割り当て、内装、備品、空調については門真市の管轄である旨を伝えた上で、指定管理者として出来る対応を行う。ご意見に関しては、障がい福祉課に要望として伝えていく。 |
| サービス提供時間帯を延長して欲しい | ニーズに応えられる様に、時間の延長等、急な対応にも応える。 | |
| 土曜開館の要望がある。 | 門真市障がい者福祉センターでの実施は困難である旨、障がい福祉課より回答を頂いたため順次説明を行なっているが、要望としてはあがっている。 | |
| ショートステイがあればよいとの要望がある。 | 以前より利用児者の声として障がい福祉課へ報告し「実施は困難である」との回答を得た為、個々の利用者への説明は行っているが、毎年要望は上がっている。 | |
| 浴室の天井をきれいにしたい | 健康増進課より専門業者に状況確認した上で修繕を行う予定としている。 | |

利用者満足度評価 コメント

貸館利用者につきましては、新型コロナウイルス感染症により、来館者が少ない為期日までにアンケート回収が不可能となる。施設の利用のしやすさについては85%の方が大変満足とやや満足、職員の対応・態度については95%の方が大変満足とやや満足、実施事業の充実度は80%の方が大変満足とやや満足との回答をされています。今後とも、分析・評価に努めてまいります。尚、土曜日の開館希望やショートステイのご希望に関しては毎年要望があります。

(3) 収支状況の分析・評価

収入の部

| | | 予算額 | 実績額 | 実績 - 予算 | 備考 | |
|-------|-------|------------------|---------|---------|-------|--------------|
| 委託料 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 利用料金等 | 施設利用料 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 事業収入 | 生活介護 | 106,919 | 115,415 | 8,496 | 介護職員処遇改善加算含む |
| | | 放課後等デイサービス(重心以外) | 27,222 | 72,636 | 9,919 | 介護職員処遇改善加算含む |
| | | 放課後等デイサービス(重心) | 35,495 | | | |
| | | 給食費 | 1,207 | 796 | -411 | 雑収入含む |
| | 雑入 | 雑収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 収入合計 | | 170,843 | 188,847 | 18,004 | | |

支出の部

(単位：千円)

| 大項目 | 小項目 | 予算額 | 実績額 | 予算 - 実績 | 備考 |
|------|-------|---------|---------|---------|--|
| 人件費 | 給与費 | 134,180 | 147,693 | -13,513 | 福利厚生費等及び賞与を含む |
| | 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 法定福利費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 賃金等 | 0 | 0 | 0 | |
| 事務費 | 印刷費 | 1,536 | 1,233 | 303 | 広告宣伝費 |
| | 通信費 | 722 | 745 | -23 | |
| | 保険料 | 2,013 | 1,938 | 75 | 備品購入費(消耗品費)に含む |
| | 事務用品費 | 0 | 0 | 0 | |
| | 旅費交通費 | 2,108 | 1,432 | 676 | |
| | 賃借料 | 2,566 | 1,022 | 1,544 | |
| 管理費 | 業務委託費 | 12,213 | 6,227 | 5,986 | 外注費 |
| | 光熱水費 | 6,019 | 4,492 | 1,527 | |
| | 修繕費 | 1,144 | 479 | 665 | 車両費 |
| | 燃料費 | 2,364 | 2,610 | -246 | |
| 物件費 | 備品購入費 | 1,922 | 1,209 | 713 | 消耗品費 |
| 事業費 | 事業費 | 2,224 | 15,817 | -13,593 | 研修費・接待交際費・支払手数料・減価償却費・図書費・諸会費・会議費・本部事務手数料・雑費 |
| 公租公課 | 租税公課 | 0 | 658 | -658 | |
| 支出合計 | | 169,011 | 185,555 | -16,544 | |

収支(実績ベース)

188,847 - 185,555 = 3,292

収支状況評価コメント

今年度より生活介護の算定が公立減算対象となり算定単位が低くなったが、利用者からの不定期利用ニーズに応えることにより、大幅な減収とはならなかった。人件費が予算より多くかかったことは、長期に渡り勤務している職員が多くなったことや、それに伴う若手育成に力を入れたことによるものであった。